

発行 福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室

〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階
TEL 092-584-3377 FAX 092-584-3369
E-mail kosodate@fuku-shakyo.jp



うちの子育て 地域の子育て

人がそれぞれ違う個性を持っているように、それぞれの家庭での子育ての考えや方法は違います。

また、子守唄ひとつをとっても地域によって違いがあるように、子育ての考え、方法はそれぞれの地域によっても違うものです。地域での子育てを考えると、地域性を尊重しながら、その独自性を継承していきたいものですね。

子どもの発達にはこれがいい、これはしてはいけないなど、私たちの周りには子育てに関するたくさんの情報が溢れています。育児書には、たくさんのマニュアルが記載してあります。

でも、自分の地域のマニュアル、自分が育った家庭でのマニュアルももう一度見つめ直して自分なりの子育てをしてみませんか。

「ふくすく」で紹介する子育て支援活動もどれひとつとして同じものはないのです。

(子育て支援事業推進室 はまさき)

もくじ

- うちの子育て 地域の子育て ……………1
- 若宮町ベジタブル ……………2
- 大野城市社協サークル
合同クリスマス会……………3
- 神奈川県「ままとんきず」……………4



若宮町ベジタブル

ベジタブルは、野菜嫌いをなくすこと、安心・安全な地元の野菜、旬の野菜の効果伝えるため、本物の野菜を使った人形劇などに取り組んでいる団体です。代表の柴田さんは、福岡県子育てアドバイザーとして食育の講演など様々な活動に取り組んでおり、日本全国あちらこちらを飛び回っています。

9人の主婦でスタートしたベジタブルの活動も、今では10歳代から70歳代の25人のメンバーになり、楽しい活動を14年間も継続させています。「まずは自分が楽しむこと！」がモットーのベジタブルの活動は、地域の子育てや食育を、子どもたちやその親たちへ伝える、奥行きのあるものへと成長し続けています。

今年12月には福岡県、筑豊農業・農村活性化推進協議会と共催で、『「食」と「農」のカルタ』を作成されています。

また、若宮町脇田温泉の湯原荘の女将でもある柴田さんは、柴田さんご本人がいる時ならいつでも利用できる子育てサロンを開いています。絵本やおもちゃをそろえ、子育て中の親子の居場所ができれば、と旅館の一室を開放して始めたものです。ここにある絵本を目当てに小竹町や直方市から訪れる親子もいるほどです。



手作りトンネル



出演者たち



代表の柴田さん



「食」と「農」のカルタ 本体500円
問い合わせ先 ベジタブル0949-54-0320

問い合わせは…

若宮町社会福祉協議会 TEL 0949-52-0980

食育について

子どもたちへの教育、「知育」、「徳育」、「体育」の基本となるのが、「食育」だといわれます。子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むため、明るい笑顔の家庭を築くため、私たちの生活の中で「食」は欠かせないものです。

平成17年6月には「食育基本法」が成立し、国や行政による「食育」の推進も行われています。



はい、チーズ



ピース



うえ〜ん



ばあ

大野城市

子育てサークル合同クリスマス会

12月16日に子育てサークル合同クリスマス会が大野城市社会福祉協議会の主催で行われました。子育てサークル活動をしていない方も含め、大野城市内から56名の親子の参加を得て、クリスマスの楽しくロマンチックなひとときを過ごしました。

はじめに、サンタさんに変装した大野城市社協 倉掛会長の挨拶があり、続いてフルート、ホルンなど様々な楽器の生演奏や絵本の読み聞かせなどがありました。参加したお母さんや子どもたちは生演奏にうっとりとし聞き入り、クリスマスソングの曲に合わせて口ずさんだり、踊り始める子どももいました。



会長サンタさん



「赤鼻のトナカイ」に合わせて・・・

また、クリスマス会にはボランティアとして「子育てサークルサポーター*」の参加もあり、子どもたちと楽しくお話したり、「赤鼻のトナカイ」の曲に合わせて楽しいダンスを披露していました。

日頃、別々の活動をしているお母さんや子どもたちも、仲良くお話をする姿も見られ、交流の場にもなったようです。

生演奏！



何のお話かな



読み聞かせ

♡*「子育てサークルサポーター」♡

大野城市社協では「子育てサークルサポーター養成講座」の受講者を「子育てサークルサポーター」として登録しています。今回のクリスマス会にもボランティアとして企画や運営に参画するなど、大野城市の子育てサロン活動を支援しています。お母さんたちの自主的なサロン活動を支援していく応援団として、今後の活躍に期待が高まります。

問い合わせは…

大野城市社会福祉協議会 TEL 092-572-7700



いつのまにかねんね



大好きなタオル



にっこり



オーケー

ままとんきっず

ままとんきっずは、神奈川県川崎市多摩区を拠点としてさまざまな子育て支援活動を展開しているNPO団体です。1994年、子育てママのタウン情報誌"ままとんきっず"の発行に始まり、お母さんたちのあつたらいいなを次々に形にして10年近く活動を続けています。

みんなの子育てを応援するNPOです!

ままとんきっず

このロゴだけで元気になれそう



普段のサロンの様子



理事長を務める有北さんは、おっとりとした雰囲気を持つ魅力的な女性です。メンバーやサロンに訪れる親子をしっかりと包み込んでいます。

そして、事務局を担当している松本さんは、「ままとん」の活動をしっかりと支えています。

さらに、かながわ子育てネットワークの一員で、「ままとん」の活動とも関わりが深い、パワフルな行動力と話力をもつ橋本さん。様々な活動を裏で後押ししているところから「仕掛け人」と呼ばれています。ボランティアの方も含め、メンバーの

みなさんはバイタリティーに溢れ、突然訪れた福岡からの珍客にも親切に対応してくださいました。

残念ながら、日頃活動しているままとんサロンや講座は見学できませんでしたが、活動の根本は「人」とであると実感させられました。

「ままとんきっず」では、情報誌等の発行、子育てのメール相談、子育てサロン、各種講座、調査研究、イベントの開催、また行政関係委員として政策作りにも参加されています。このように様々な事業を行いながらも、ひとつひとつの事業を次へどう展開していくのか、ということをおも念頭において活動をしています。



大募集!

「ふくすく」に関する「意見」「要望」、また子育てサロンへの取材依頼、子育てに関する様々なエピソードなどを募集します。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)



2005年も、残すところ後わずかとなりました。

今年は、子育て支援事業推進室を立ち上げ、福岡県社協として本格的に子育て支援に乗り出しました。

今年の下半期を振り返ってみると、子育て支援の情報を求めている人などところへ訪問させていただきました。おかげさまで、息子ともども、あちこちにお友達ができました。

家のことは息子を寝かせつけてからしようと思っ
ていても、逆に息子に寝かせつけられていて、慌
てる朝も幾度となくありました。

職場の方や家族、そして取材先の方からいろん
な場面で助けていただきました。特に取材先では、
お母さんたち自身の活動、またその活動を支援す
る方、いろんな人と人のつながりがあり、取材
をするたびに元気とやる気ももらってきた気がし
ます。

今年、県内市町村社協を始め、ご協力いただい
た子育てサロン関係者の皆様、子育て支援をとお
して出会うことができた皆様に、子育て支援事業
推進室一同、お礼を申し上げます。
来年もどうぞよろしく申し上げます。